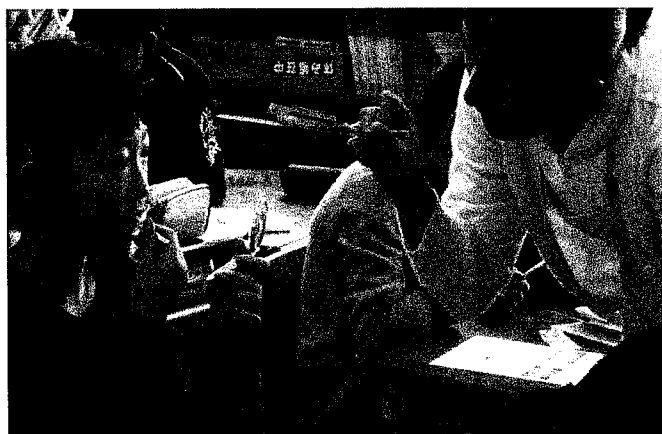


平成29・30年度 一般社団法人 日本学校歯科医会 委嘱

生きる力をはぐくむ 歯・口の健康づくり推進事業 実践事例発表会



平成30年12月6日(木)

新潟市立真砂小学校

目 次

研究会の日程	2
研究の概要	5
実践内容及び成果と課題, 活動紹介	7
I 明倫短期大学との連携	8
II 家庭, 地域, 他団体との連携	23
III 校内での取組	24
IV まとめ	25

<研究会の日程>

14:00	20	30	15:10	30	40	16:25	30
受付	開会式	実践発表 (40分)	ご指導 (20分)	休憩	講演会 (45分)	閉会式	

指導者：新潟市教育委員会指導主事 大森悦子様

講師：明倫短期大学教授 木暮ミカ様

<式次第>

※司会：教務主任 五十嵐淳

<開会式>

- (1) 開会
- (2) 開会の挨拶（校長 市橋佳代）
- (3) 指導者・講師紹介（校長 市橋佳代）
- (4) 閉会

<実践発表>

- (1) 研究の概要（養護教諭 田口実奈季）
- (2) 実践内容及び成果と課題（研究主任 渡邊剛・養護教諭 田口実奈季）
- (3) まとめ（養護教諭 田口実奈季）

<ご指導>

指導者：新潟市教育委員会保健給食課 指導主事 大森悦子様

<休憩>

<講演会>

講師：明倫短期大学 教授 木暮ミカ様

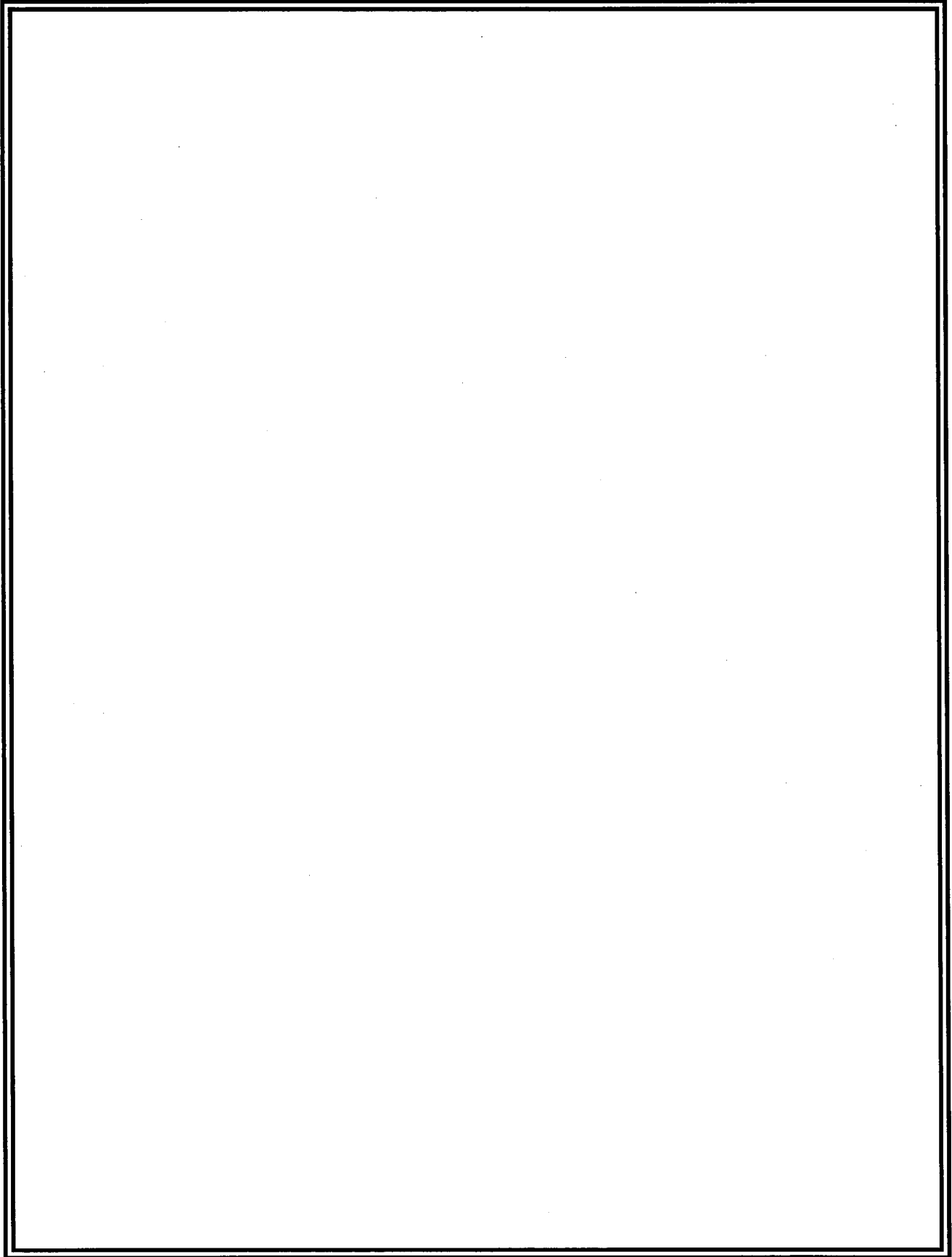
演題：「ライフステージに合わせた歯と口腔の健康づくりの実際

～乳児期から高齢期までの予防歯科の実際～

<閉会式>

- (1) 開会
- (2) 謝辞並びに閉会の挨拶（教頭 金子徹）
- (3) 閉会

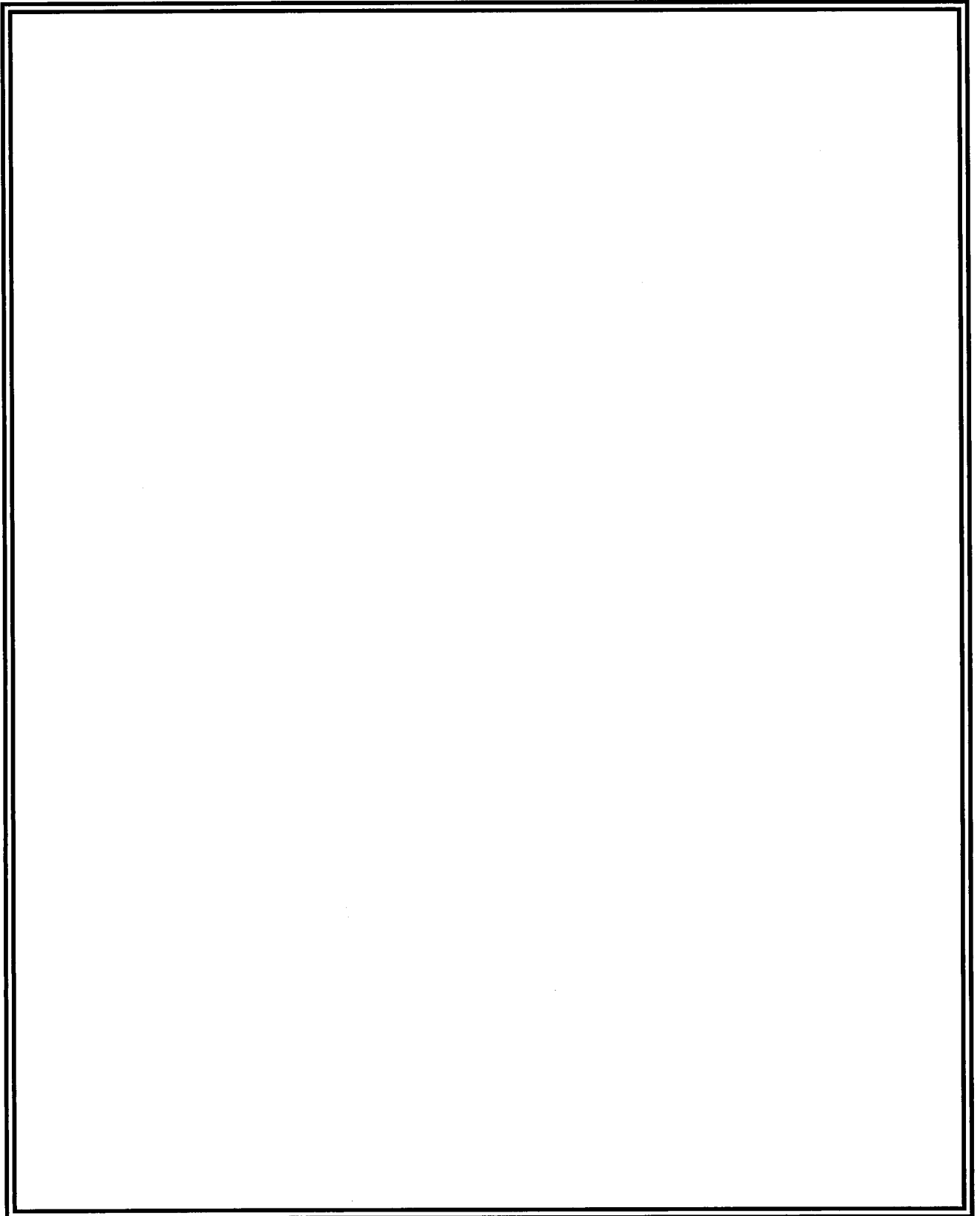
ご指導 新潟市教育委員会保健給食課 指導主事 大森悦子様



ご講演 明倫短期大学 教授 木暮ミカ様

演題：「ライフステージに合わせた歯と口腔の健康づくりの実際

～乳児期から高齢期までの予防歯科の実際～」



平成29・30年度 一般社団法人 日本学校歯科医会 委嘱

生きる力をはぐくむ
歯・口の健康づくり推進事業

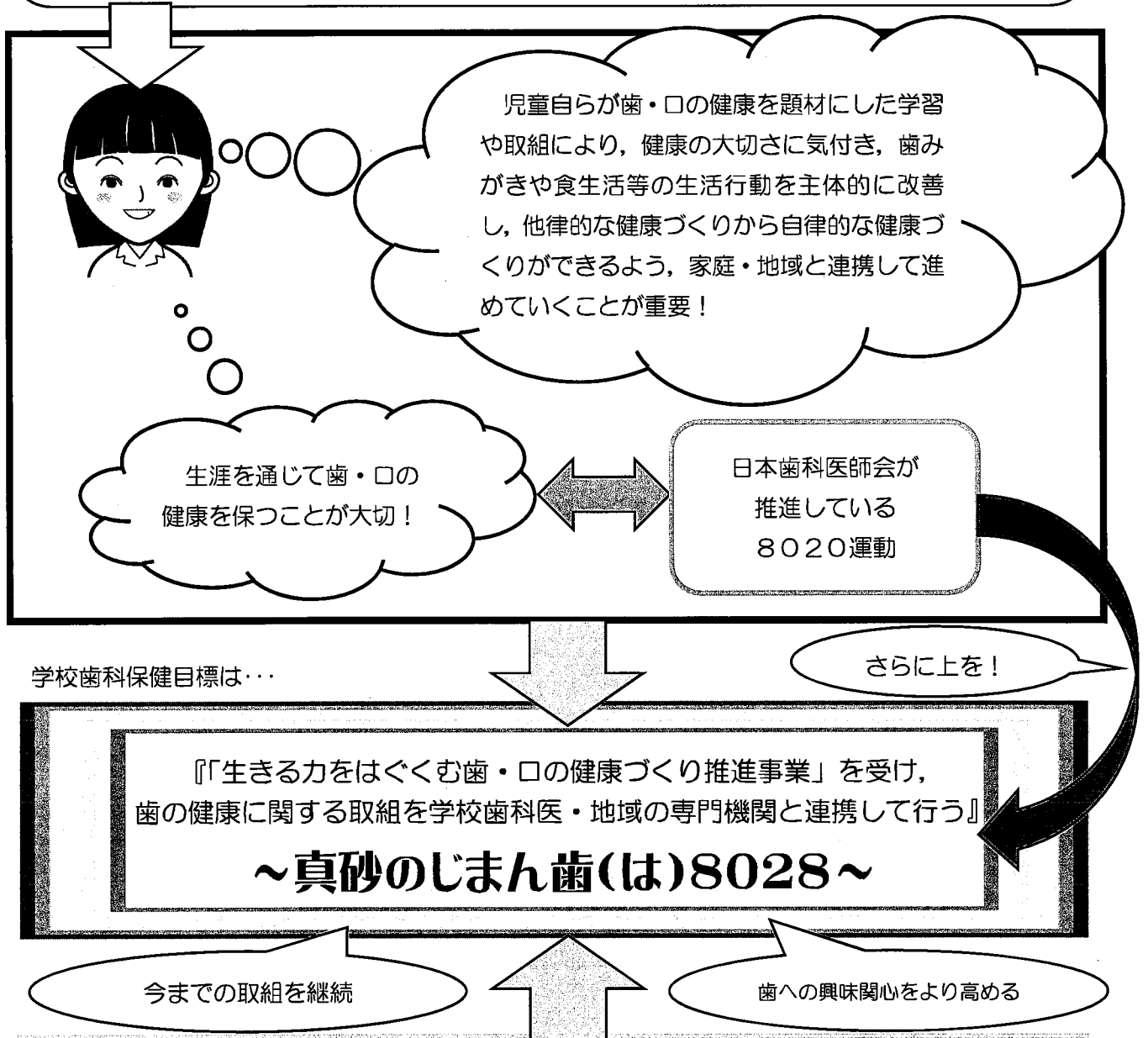
研究の概要



〈 日本学校歯科医会が推進している事業テーマ及び具体的な内容 〉

事業テーマ：望ましい生活習慣の形成を目指す歯・口の健康づくりと歯・口の外傷予防

- ① むし歯や歯周病の予防方法の理解と実践
- ② 学校生活における歯・口のけが防止と安全な環境づくり
- ③ 食べる機能や食べ方の発達支援を通じての実践的な歯・口の健康づくり



〈 真砂小学校の歯科保健実態 〉

- ・ 明倫短期大学と連携した全校歯科指導に取り組んでいる
- ・ 90%以上の児童がアンケートで「歯みがきなどで歯の健康に気を付けている」と回答
- ・ 新潟市平均と比較して「う歯所有者率」, 「1人平均う歯本数」, 「歯肉の有所見者率」, 「歯垢の有所見者率」が低い
- ・ 「よい歯の学校」に選ばれている

平成29・30年度 一般社団法人 日本学校歯科医会 委嘱

生きる力をはぐくむ

歯・口の健康づくり推進事業

実践内容及び成果と課題

活動紹介



I 明倫短期大学との連携

1. 全校歯科指導

第1学年 学級活動学習指導案

平成30年9月6日(木) 第3校時

指導者 1組北 洋子 2組佐藤 まゆみ 3組倉元 恵理

明倫短期大学 学生

1 題材名

「歯の王様を守ろう」

2 本時のねらい

歯のみがき方について、第一大臼歯の大切さを考える活動を通して、正しい歯みがきの方法を知ることができる。


3 本時の展開

時間	学習活動	T教師の働き掛け C予想される児童の反応	・留意点 ※資料 [評価]
導入 (5分)	1. 歯の王様からの手紙を聞く。	<p>T 1 : 歯の王様から手紙が来ました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>わたしは、みんなの口の1番奥に生えはじめた大人の歯、第一大臼歯だ。大人の歯の中でも1番大きくて、ねっこも太くて、しっかりしている。それに、噛む力も1番強いから歯の仲間からは、王様と呼ばれているのだ。でもわたしは、まだ半分ぐらいしか出てきていない。これから、本物の王様になるところなんだ。それなのに、今、わたしはむし歯菌に狙われているのだ。むし歯菌に大きな穴を開けられたら本物の王様になれなくなってしまう。大変なんだ…。</p> <p><u>むし歯菌から、わたしを守る方法を教えてくれ!!!</u></p> </div> <p>T 1 : 歯の王様を守るために、できることはなんだと思いますか。</p> <p>C : 食べるものに気を付ける。</p> <p>C : 歯みがきをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>学習課題</p> <p>歯の王様をむし歯から守るには、どうやって歯みがきをすればよいかな。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の王様からの手紙, 第一大臼歯(歯の王様)のイラストを準備する。 ・第一大臼歯という歯の名前, 特徴を知る。
展開 (25分)	2. どの歯が第一大臼歯なのかを知り, その歯のみがき方を知る。	<p>T 1 : 今日は, 歯の国から歯の先生に来てもらいました。第一大臼歯のことや歯みがきの仕方を教えてもらいましょう。</p> <p>T 2 : これから第一大臼歯についてお話しします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一大臼歯の特徴 ・むし歯になりやすいところ 	<ul style="list-style-type: none"> ※パワーポイント ・指導用のオレオ

		T 2 : オレオを食べて、歯のどこが汚れるか確認してみましょう。 C : 奥の歯のでこぼこに、汚れがあるな。	を準備する。
	3. 実際にみがき、第一大臼歯の歯のみがき方を学ぶ。	T 2 : 第一大臼歯を守ることができる上手な歯のみがき方があります。(背の低い歯のみがき方を指導後) 実際に自分の歯をみがいてみましょう。 C : 奥まで歯ブラシを入れるといいよ。 C : でこぼこに歯ブラシをあてると汚れがとれるよ。	[児童が用意するもの] ・歯ブラシ ・コップ ・手鏡
終末 (15分)	4. 本時のまとめをする。 歯の王様に手紙を書く。 (振り返り)	T 1 : どのように歯みがきをすると歯の王様を守れるか分かりましたか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> まとめ ・歯ブラシを横から入れてみがく。 ・でこぼこにしっかりとあてる。 ・汚れをかき出す。 </div> T 1 : 歯の王様へ、歯の王様を守る歯みがきの仕方を教えてあげるために、お手紙の返事を書きましょう。 歯の王様を守るための歯みがきの仕方は、～です。これからは、～したいです。	・ にキーワードの言葉を入れ、まとめをする。 ・ ヒントになる歯のみがき方を掲示しておく。 ・ 手紙の書き出しを指定して書かせる。 [評価] 歯の王様の手紙の中に、歯のみがき方が書かれている。

4 板書計画

9がつ6にち (もく)




がくしゅうかだい
はのおうさまをむしばからまもるには、どうやってはみがきをすればよいか。

まとめ
・はぶらしをよこからいれてみがく。
・でこぼこにしっかりとあてる。
・よごれをかきだす。

「だいいちだいきゅうし」のとくちょう

ふりかえり
「はのみがきかた」について
おうさまにてがみをかく



5 評価

- A : 歯の王様への手紙の中に、歯のみがき方で注意すること、これから自分で気を付けたいことが書かれている。
- B : 歯の王様への手紙の中に、歯のみがき方で注意することが書かれている。

第2学年 学級活動学習指導案

平成30年9月6日(木) 第3校時
 指導者 1組矢部 尚子 2組川崎 泰洋
 明倫短期大学 学生

1 題材名

「よくかんで食べよう」

2 本時のねらい

よくかむことの大切さについて、カミング30運動を通して、よくかんで食べようと意識することができる。

3 本時の展開

時間	学習活動	T 教師の働き掛け C 予想される児童の反応	・留意点 ※資料 [評価]
導入 (5分)	1. かむことへの意識をもつ。	T1: これは何をしているところでしょう。 C: 野球。 T1: 速い球を投げるために、どんな工夫をしているでしょう。 C: 全身を使って投げている。 C: 歯をくいしばっている。 T1: 歯を大切にするためには、どんなことができるでしょうか。 C: 歯みがきをする。 C: よくかんで食べる。	・明倫短期大学の先生を紹介する。 ・写真を提示する。 ・顔周辺の写真を提示する。
展開 (35分)	2. よくかむことについて考える。 3. カミング30運動をする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 学習課題 よくかんで食べると、どんなよいことがあるのだろうか。 </div> T1: よくかんで食べると、どんなよいことがあると思いますか。 C: むし歯の予防。 T1: よくかんで食べるとどんなよいことがあるか教えてもらいましょう。 T2: 合言葉は「ひみこのはがいーぜ」です。よくかんで食べると、肥満予防やがん予防などいろいろな良いことがあります。 T2: 今日はみんなにも関係してくる頭の働きがよくなることと歯の病気予防についてお話していきます。 T2: よくかんで食べることが大切だということが分かりましたね。みんなは一口の食	・児童の言葉から課題を設定する。 ・脳の活性化と病気予防について話をする。 ・ガムを配布する。 ・2分間かむ。

	4. 歯みがきをする。	<p>べ物を何回くらいかんで食べていますか。</p> <p>C: 10回</p> <p>T2: カミング30運動という一口につき30回はかんで食べようという運動があります。みんなでやってみましょう。</p> <p>T2: よくかむためには、ゆっくり食べることやかみごたえのある食べ物を食べることが大切です。</p> <p>T2: よくかむためには、健康な歯が必要です。</p>	・歯みがきのポイントを指導する。
終末 (5分)	5. 本時のまとめをする。 6. 学習を振り返る。	<p>まとめ</p> <p>よくかんで食べると、頭のはたらきがよくなったり、歯の病気予防になったりする。</p> <p>T1: 今日学んだことや分かったことを振り返りましょう。</p> <p>C: 今日は歯のことについて学びました。歯みがきをすることや、よくかんで食べることが大切だということが分かりました。これからは、給食やごはんをゆっくりかんで食べたいです。</p>	<p>・プリントに振り返りを書かせる。</p> <p>[評価]</p> <p>歯を大切にするため、よくかんで食べることを意識することができる。</p>

4 板書計画

<p>9月6日(木)</p> <p>はを大せつにするためには?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はをみがく ・よくかんで食べる <p>学習課題</p> <p>よくかんで食べると、どんなよいことがあるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むしばのよぼう。 ・頭がよくなる。 	<p>(1) 頭のはたらきがよくなる</p> <p>よくかんで食べると、頭にしげきがつたわり、頭のはたらきがよくなる。</p> <p>(2) はのびようきよぼう</p> <p>つばがいっぱいできて、口の中のよごれをあらいながして、きれいにしてくれる。</p> <p>まとめ</p> <p>よくかんで食べると、あたまがよくはたらいたり、はのびよう気よぼうになったりする。</p> <p><ふりかえり></p> <p>今日の学習で学んだことは...</p>
---	--

5 評価

- A: 歯を大切にするため、よくかんで食べることを意識し、今後の自分の食事の仕方について考えることができる。(振り返り)
- B: 歯を大切にするため、よくかんで食べることを意識することができる。(振り返り)

第3学年 学級活動学習指導案

平成30年9月6日(木) 第2校時

指導者 1組高野 伸夫 2組黒井 祐子 3組高橋 瑞紀
明倫短期大学 学生

1 題材名

「『CO』って何?~むし歯の進み方~」

2 本時のねらい

むし歯のできやすい場所について、資料を基にむし歯の進み方や汚れやすい場所を考える活動を通して、汚れのつきやすいところがむし歯のできやすいところであることを知り、そこを意識して歯みがきをすればよいことが分かる。

3 本時の展開

時間	学習活動	T教師の働き掛け C予想される児童の反応	・留意点 ※資料 [評価]
導入 (3分)	1. むし歯について学習することを 知る。 (3分)	T1: 今日、むし歯にも名前があることを勉強します。 C: むし歯の進み方だ。私の調べているテーマだ。 C: むし歯のできる場所の違いだ T1: そうですね。むし歯の進み方について教えてください たきましょう。	・総合的な学習「良い歯にしようプロジェクト」の自分のテーマとのかかわりを考えさせ興味をもたせる。
展開 (35分)	2. むし歯の進み方について知る。 (5分)	T2: むし歯の進み方について説明していきます。 ・「C0」「C1」「C2」「C3」「C4」とむし歯は進んでいきます。 C0: 白くにごっている。ほうっておくとむし歯になる。 C1: エナメル質の中のできる。痛くない。 C2: 象牙質まで進む。冷たい物がしみる。甘い物は痛い。 C3: 歯の神経まで進む。温かい物がしみ何もなくても痛い。 C4: 根っこだけになる。歯肉が腫れて膿がたまる。歯を抜く。 ・むし歯が進むと、症状がどんどん悪化していきます。	・むし歯進行の状態によって「C」に付く数字が大きくなっていき、症状も重くなっていくことを写真や絵によって視覚的に捉えさせる。 ※むし歯「C0, C1, C2, C3, C4」の写真と映像
	3. むし歯のできやすい場所について知る。 (10分)	T1: むし歯は、C0からC4までどんどん進んでいくのですね。そして、痛い思いをするのですね。では、むし歯は、どんな所からできていくのでしょうか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">学習課題 むし歯のできやすいところはどんなところだろうか。</div> C: 歯と歯の間、歯の裏側、奥歯 T1: どうして、そのようなところにむし歯のできやすいのでしょうか。 C: 歯と歯の間です。食べ物が入り込んで残っていらうだから。 C: 歯の裏側です。歯の裏は、よく見えないし、みがきにくいから。 C: 奥歯のみぞです。一番食べ物を噛む場所だから。 C: 歯と歯肉の境目です。よくみがいてないから。	・むし歯の怖さを知ること、むし歯になりやすい場所をより具体的に知りたいという意欲をもたせ、学習課題につなげる。 ・むし歯のできやすい所を予想させ、その理由も考えさせる。 ・自分の考えをもたせた後、ペアで意見交流をさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">ワークシートにむし歯のできやすい場所を書くことができる。</div>

		T 1 : 実際に教えていただきましょう。 T 2 : むし歯のできやすい場所について紹介します。 ① 歯と歯の間 ② 歯と歯肉の間 ③ 奥歯のみぞです。	※むし歯ができやすい場所の写真と映像
4. 本時のまとめをする。(5分)		T 1 : どのような所がむし歯になりやすいのでしょうかかまとめましょう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まとめ ○みがきにくいところがむし歯になりやすい。 ・歯と歯の間 ・歯と歯肉の間 ・奥歯のみぞ</div>	・板書を参考に、言葉をまとめていく。
5. まとめで得た知識を基に、正しい歯みがきの仕方を知る。(15分)		T 1 : それらの場所を上手にみがくにはどうしたらよいでしょうか。 C : 歯ブラシの使い方に気を付ける。 T 2 : それでは、正しい使い方を教えます。 ・汚れが残りやすい場所のみがき方のこつ C : 染め出しをして実際に汚れている場所を確認し、正しい歯みがきの仕方を意識してみがく。	・染め出しを行い、「まとめ」で捉えた汚れやすい場所と自分の汚れを比べさせる。 〔児童準備〕 ・歯ブラシ・コップ ・牛乳パック切った物 ・手鏡
終末(7分)	6. 本時の振り返りをする。(7分)	T 1 : 今日勉強して、分かったことやこれから自分はどうなるかに気を付けて歯みがきをしていくか書きましょう。 ・むし歯ができやすい場所の勉強をして、できやすい所は、みがきにくい場所だということが分かった。また、むし歯は、C0 から C4 と悪くなっていくことが分かった。むし歯を作らないように、これからは、みがき残しの多かった歯と歯肉の間に気を付けてみがいていきたい。	・振り返る項目を示す。 むし歯ができやすい場所の勉強をして(①分かったこと、②これから気を付けたいこと)を記述させる。 (ワークシートに、分かったことや自分の考えを書いている。)

4 板書計画

9月6日(木)
『C0』って何? ~むし歯の進み方~

C0

C1

C2

C3

C4

まとめ
 ○みがきにくいところがむし歯になりやすい。
 ・歯と歯の間 ・歯と歯肉の間 ・おく歯のみぞ
 〈正しい歯みがきの仕方〉
 ・基本のみがき方 ・前歯の裏側
 ・よごれが残りやすい場所のみがき方
振り返り むし歯ができやすい場所の勉強をして
 ・分かったこと ・今度気を付けたいこと

学習課題
 むし歯ができやすいところはどんなところだろうか。

歯と歯の間
歯と歯肉の間
おく歯のみぞ

5 評価

- A : むし歯ができやすいところは、歯ブラシでみがきにくく、汚れが残りやすいところだということが分かり、歯ブラシを正しく使って汚れを落とすことができる。これから、自分の歯みがきで気を付けることを自分の染め出しの結果を踏まえて考えることができる。
- B : むし歯ができやすいところは、汚れが残りやすいところだということが分かり、歯ブラシを正しく使って汚れを落とすことができる。これから、自分の歯みがきで気を付けることを考えることができる。

第4学年 学級活動学習指導案

平成30年9月6日(木) 第2校時
 指導者 1組杉野 佑馬 2組山形 智子
 明倫短期大学 学生

1 題材名

「歯肉炎」はどんな病気？

2 本時のねらい

歯肉炎が起こる原因や予防法を知ることを通して、健康な歯肉の大切さに気付くことができる。

3 本時の展開

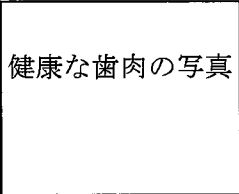
時間	学習活動	T 教師の働きかけ C 予想される児童の反応	・留意点 ※資料 [評価]
導入 (7分)	1. 問題を考える。	<p>T1: AとBの2枚の写真を見比べてみましょう。自分の歯肉は、どちらの写真に近いですか。手鏡で自分の歯肉を見てみましょう。(手鏡で歯肉の様子を確認させる)</p> <p>C: Aの写真に近いな。 C: Bの写真の方かな。</p> <p>T1: AとBの歯肉は何が違うのでしょうか。 C: Aは歯肉がピンク色。 C: Bは歯肉が赤い気がするな。 C: Aは歯肉が引き締まっている感じがするけれど、Bはぶよぶよしている感じがする。</p> <p>T1: 実はBの歯肉は「歯肉炎」という病気です。 C: ええ～!! C: だから見た目が違うのか…。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭で「歯茎」は「歯肉」と呼ぶことを確認する。 ・歯肉炎の歯肉の写真と、健康な歯肉の写真を提示する。 ※歯肉炎の歯肉の写真 ※健康な歯肉の写真
展開 (25分)	2. 課題をつかむ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 学習課題：なぜ歯肉炎になるのでしょうか。そして歯肉炎にならないためには、どうすればよいのでしょうか。 </div> <p>C: 歯みがきをしないから。 C: 歯みがきのやり方が悪いから。 C: 正しい歯みがきのやり方を知りたい!</p> <p>T1: 歯肉炎の原因や、歯肉炎にならないためにはどうすればよいか、明倫短大の先生に聞いてみましょう。</p>	
	3. 課題を解決する。	<p>T2: 歯肉炎になる原因は、プラークです。プラークは、歯の表面についた細菌です。プラークを取り除くための歯みがきのやり方があるので、今日は一緒にやってみましょう。 *染め出しなしで、歯みがきをする。</p> <p>C: 今までやっていた歯みがきのやり方とは違うな。 C: 力いっぱいみがけばいいと思っていたよ。 C: みがき残しをしそうな場所が、たくさんあるな。 C: 正しくみがいたら、歯の隅々まできれいになったよ。</p> <p>T2: では、鏡と歯ブラシを置いてください。</p>	<p>【用意するもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯ブラシ ・コップ ・牛乳パックを切ったもの(うがい用) ・手鏡 <p>[評価] 正しい歯みがきのやり方を試している。</p>

終末 (13分)	4. 本時のまとめをする。	<p>T1: なぜ歯肉炎になるのかや歯肉炎にならないためにはどうすればよいか分かりましたか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・歯肉炎の原因はプラークで、正しい歯みがきのやり方で、プラークが残りやすいところをきちんとみがくとよい。</p> </div>	<p>・子どもたちからのつぶやき、発言を基にして、まとめの文章を作り上げる。</p>
	5. 本時の振り返りをする。	<p>T1: 今日の学習で分かったことやこれから自分で気をつけたいことを書きましょう。</p> <p>C: 今日の学習で分かったことは、<u>歯肉炎になっても歯みがきをきちんとすれば、治るということです。これからは歯の一つ一つをしっかりとみがくことを気をつけたいと思います。</u></p>	<p>・下線部は指定して、以下のように書かせる。今日の学習で分かったことは～です。これからは、～に気をつけたいと思います。</p> <p>・何人かの子どもたちに振り返りを発表させる。</p> <p>[評価]</p> <p>・学習内容を理解し、これから自分がどんなことに気を付けて歯みがきをするか考えることができる。</p>

4 板書計画

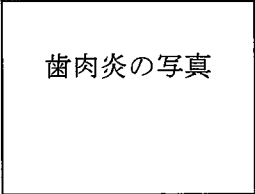
9月6日(木)
「歯肉炎」はどんな病気?

健康な歯肉の写真



- ・ピンク色。
- ・引き締まっている。
- ・歯との境目が三角形。

歯肉炎の写真



- ・赤い色。
- ・ぶよぶよしている。
- ・すぐに血が出そう。

学習課題

- ・なぜ歯肉炎になるのだろうか。
- ・歯肉炎にならないためには、どうすればよいのだろうか。

〈なぜなるのか〉 プラーク
〈ならないためには〉 正しい歯みがきをする

まとめ

歯肉炎の原因はプラークで、正しい歯みがきのやり方で、プラークが残りやすいところをきちんとみがくとよい。

ブラッシングのやり方の図

- ・基本のみがき方
- ・前歯の裏のみがき方

振り返り

歯肉炎の学習で、○○○○ということが分かりました。これからは、□□□□を気をつけたいと思います。

5 評価

- A: 歯肉炎という病気を通して、歯肉の大切さを理解し、これからの自分の歯みがきで気をつけたいことを考えることができる。
- B: 歯肉炎という病気を通して、歯肉の大切さを理解することができる。

第5学年 学級活動学習指導案

平成30年9月6日(木) 第4校時

指導者 1組中川 あい香 2組渡邊 剛 3組守屋 繭子
明倫短期大学 学生

1 題材名

「デンタルフロスを上手に使おう」

2 本時のねらい

デンタルフロスについて、その種類を知ったり、実際に使ってみたりする活動を通して、正しい使い方ができる。

3 本時の展開

時間	学習活動	T教師の働き掛け C予想される児童の反応	・留意点 ※資料 [評価]
導入 (5分)	1. 昨年までに学習したことを振り返る。	T1: 昨年の「歯肉炎」の勉強を思い出してみよう。 むし歯や歯肉炎の原因は何だったでしょう。 C: 歯の汚れ C: プラーク T1: 汚れやすい場所はどこだったかな。 C: 歯と歯の間 C: 奥歯 T1: 歯と歯の間の汚れは歯ブラシだけで落とせるかな。 C: 落とせない。 T1: 歯ブラシで落とせなかった汚れは何で落とせばよいでしょう。 C: デンタルフロス <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">学習課題 デンタルフロスは、どのように使うとよいのだろう。</div>	・昨年度までの学習を振り返ることにより、学習課題につなげる。 ・児童から出た言葉を板書していく。 ・ノートに課題を書く。
展開 (25分)	2. デンタルフロスの種類を知り、使い方を考える。(10分)	T2: デンタルフロスには種類があるので紹介していきます。(2種類) さて、Y字型フロスはどうやって動かしたらよいでしょう。 C: 細かく動かして汚れを取っていくんじゃないかな。 C: そっと入れてから前後に動かすと思う。	※写真 ・グループで相談する時間をとる。 ・いくつかのグループから模型を使って発表してもらおう。
	3. 使い方を知り、デンタルフロスを実際に使ってみる。(15分)	T2: 動画で使い方を確かめてみましょう。 C: 自分でも簡単に使えそう。 T2: デンタルフロスの使い方を練習してみましょう。	・T2がキーワードを繰り返すので、T1が板書する。 ・いくつかの歯を取り上げ、手鏡を見ながら練習する。

			<p>・デンタルフロスを使い終わったら、事前に準備しておいた水でうがいをする。 [ポイントを押さえて練習している]</p>
<p>終末 (15分)</p>	<p>4. 本時のまとめと振り返りをする。</p>	<p>T1:デンタルフロスを使うときに大事なことは何だったでしょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>まとめ 歯肉をきずつけないように、歯と歯の間にゆっくり入れる。歯の表面にそわせて数回動かす。</p> </div> <p>T1:今日の学習の振り返りをしましょう。 C:デンタルフロスを使うときは、歯肉をきずつけないようにゆっくり入れることや、汚れをきれいに落とすために歯の表面にそって何回か動かすことが大事だとわかった。歯ブラシだけでは歯と歯のすき間の汚れが落ちないので、歯ブラシとデンタルフロスの両方を使うことでむし歯を防ぎたい。</p>	<p>・振り返る項目を示す。(わかったこと・むし歯にならないために気を付けていきたいこと) [ノートにわかったことや自分の考えが書けている]</p>

4 板書計画

9月6日(木)

学習課題
デンタルフロスは、どのように使うとよいのだろう。

まとめ
歯肉をきずつけないように、歯と歯の間にゆっくり入れる。歯の表面にそわせて数回動かす。

・歯の汚れ } 歯と歯の間
・プラーク } 奥歯

デンタルフロス

振り返り

- ・わかったこと
- ・むし歯にならないために気を付けていきたいこと

5 評価

- A:デンタルフロスの正しい使い方が分かり、自分の歯でしっかり練習することができ、むし歯のない健康な歯を保とうとする意欲をもつことができる。
- B:デンタルフロスの正しい使い方が分かり、自分の歯でしっかり練習することができる。

第6学年 学級活動学習指導案

平成30年9月6日(木) 第4校時
 指導者 1組中野 優子 2組佐藤 久
 明倫短期大学 学生

1 題材名

「歯肉炎が進行すると歯周炎になるよ」

2 本時のねらい

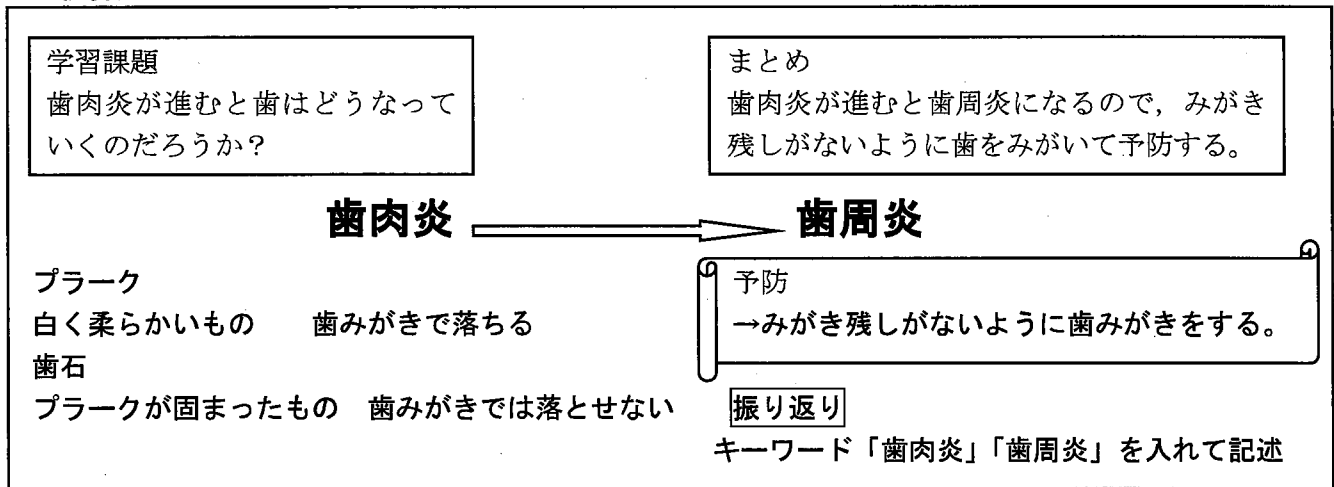
歯肉炎と歯周炎の原因について、歯肉炎の予防の方法や正しい歯みがきの仕方を学ぶことを通して、歯肉炎や歯周炎を予防しようとする。

3 本時の展開

時間	学習活動	T教師の働き掛け C予想される児童の反応	・留意点 ※資料 [評価]
導入 (5分)	1. 健康な歯肉と歯肉炎の写真から違いを見付ける。	T1: この二つの写真から気付くことはありますか? C: 右の歯肉が赤いです。腫れているのかな? T1: そうですね。(T2) 先生に聞いてみましょう。 T2: 右の写真は歯肉炎になっています。このまま放っておくと大変なことになります。 C: 抜けるのかな? むし歯になるのかな? T1: このあとどうなっていくのかみんなで考えていきましょう。	※TV ・歯肉に注目をさせ、自分の歯肉もチェックする。 ・T2 は机間指導で歯肉の様子を伝える。
学習課題 歯肉炎が進むと歯はどうなっていくのだろうか?			
展開 (30分)	2. 歯肉炎の原因と予防法を知る。 (10分)	T2: 歯肉炎が進むと歯周ポケットができます。この歯周ポケットができると歯はどうなるのかな? C: グラグラして抜けてしまうと思います。 T2: その通りです。また、歯周炎になってから治療をするのではなく、日頃から予防をしないと歯みがきでは落とせない歯石がたまっていきます。 C: 歯周炎になってからでは遅いね。	・T1 は板書をしながら、歯周炎になる過程や原因、ポイントをまとめる。
	3. 染め出しをする。 (10分)	T2: これから染め出しをして、歯の汚れを見ていきましょう。また、汚れがある場所に赤鉛筆で色を塗りましょう。 C: 歯と歯の間が赤いです。 C: 奥の歯や歯肉の近くが赤くなったよ。	・T1 はプリントを配布する。 ・全体指導後、机間巡視をし、個別指導を重視する。

	4. 正しい歯のみがき方を知り、実際にやってみる。(10分)	T2: 日頃から歯肉炎を予防するためには、正しく歯みがきをする必要があります。それでは、一緒にやってみましょう。 C: 奥歯のほうのみがきづらい。 T2: これからも丁寧に歯みがきをしていきましょう。	・T2 は汚れが残っている場所などを声掛けする。 [評価] みがき残しがないように気を付けて歯みがきをしている。
終末 (10分)	5. 学習のまとめと振り返りをする。	T1: 歯肉炎が進むと歯はどうなっていきますか? まとめ 歯肉炎が進むと歯周炎になるので、みがき残しがないように歯をみがいて予防する。 T1: みんなで8028を目指して頑張りましょう。 ○振り返り C: 病気になってからは治すのが大変だということがわかりました。毎日ていねいに歯みがきをして、歯肉炎にならないようにしたいです。 C: 汚れが残しやすいところがわかったので、気を付けて歯をみがいていきたいです。歯肉炎が進むと歯周炎になってしまうので、毎日きちんと歯みがきをしたいです。	[評価] 歯肉炎の原因や予防法がわかり、自分の歯みがきの仕方を振り返ることができる。 ・振り返りを書く前に、キーワードについて触れる。

4 板書計画



5 評価

- A: 歯肉炎の原因や予防法がわかり、みがき残しが多い場所に気付き、自分の歯みがきの仕方を振り返ることができる。
- B: 歯肉炎の原因や予防法がわかり、自分の歯みがきの仕方を振り返ることができる。

授業を終えての各学年の振り返り

【1年】

- オレオを食べて鏡で見たら、奥歯にはさまっていることが分かった。また、説明を視覚的に分かるように受けたことにより、歯みがきの大切さを感じることができた。
- 明倫短期大学の方から専門的な知識を話してもらうことで、子どもたちに正確な情報を伝えることができた。また、担任と違う先生ということで、いつも以上に集中して話を聞いていた。
- ▲実際に第一大臼歯の生え始めの模型があると、どうやって歯ブラシを使ってみがけばよいかを考えられたと思う。
- ▲歯の汚れをどうすれば落とせるかという、児童が考えたり、追求したりする場が短かった。考えさせる時間を十分にとる必要がある。
- ▲子どもたちの歯みがきをしている日常の姿が分からないため、授業後の子どもの姿（歯みがきの仕方）の変容がつかみにくい。

【2年】

- 歯についての興味関心を高めている様子が伺えた。また、子どもたちの振り返りから、今後の自分の行動（歯みがきをしっかりする、よくかんで食べる）について考えている様子が見られた。
- 授業から新たな発見があった。
- ▲授業の中でTTの連携が上手くできなかった。打ち合わせから、授業に参加する学生を交えて授業づくりを行えるとよい。
- ▲打ち合わせが授業日直前であった。余裕をもって授業を迎えられるよう、準備などを早めに行うようにしたい。

【3年】

- TTの指導で、専門的なことを明倫短期大学の方に教えていただいたことで、子どもたちは興味深そうに話を聞いていた。
- タブレットなどを用いたことで、視覚的にも分かりやすく、説得力があった。
- 実際に汚れが残りやすい場所を知り、正しい歯みがきの仕方でも歯をみがいたことは、日常化につながるよい機会となった。
- ▲細かい打ち合わせ（立ち位置や板書）を学生とすることができず、スムーズに展開することは難しいと感じた。
- ▲「知識理解」→「実技による技能習得」とたいへん内容が多く学びも深いのが、新潟市のスタンダードである話し合いによる学び合い（深まり）の時間確保が厳しかった。

【4年】

- 明倫短期大学の専門的な資料を使わせていただいて、問題解決の教材としてプラスだった。
- 打ち合わせを2回していただいたことで、学習をスムーズに進めることができた。
- ▲4年生は、「全国小学生歯みがき大会」で実施した内容と重なり、子どもたちもある程度知っている内容であったため、子どもたちの興味関心はやや低かったように感じる。

▲授業を一緒に行う学生と直接打ち合わせを行う機会がなかったので、授業の微妙な間合いなどで少し戸惑いがあった。

【5年】

○明倫短期大学の説明を一方向的に受けるだけではなく、担任が主となって授業を行うことにより、新潟市のフレームワークで授業をすることができた。そのことにより、子どもたちはより課題意識をもって学習に臨むことができた。

○専門性の高い明倫短期大学の方が指導してくださったおかげで、子どもたちにとってより確かな学びになった。

▲打ち合わせは行ったが、子ども同士のかかわり合いの場面を中心に、担任がどこまで介入してよいか戸惑ってしまった。学生を含めての、より綿密な打ち合わせの必要があると感じた。

▲新潟市のフレームワークで授業をすることはできたが、主にかかわり合いの場面で、十分に考えが深まったかは疑問である。内容が専門的すぎることやかわり合いに入る前の説明の仕方に課題があると感じた。

【6年】

○内容（歯肉炎・歯周炎）は子どもたちの興味・関心を引くものであった。また、スライドはとても分かりやすく作られていて、子どもたちもよく理解できた。

○子どもたちはいつも以上に真剣に学習に参加していた。専門的な知識・技能をもった方から学べる意義は大きい。

▲可能ならば、実際に教室へ指導に来てくれる学生と打ち合わせができればよかった。授業の進め方でややズレがあった。

▲歯みがき指導の場面で、もっと具体的な手本があるとよい。（実際は「こうやります→やってみましょう」程度であった。）奥歯から順番にもう少し丁寧に教えてもらえるとよかった。

成果と課題

【成果】

○TTの形式で行ったことにより、子どもたちはより明確な課題意識をもって授業に臨むことができた。また、新潟市のフレームワークを用いて授業を行ったことで、子どもたちは授業の流れが分かり、どの子も安心して学習に参加できた。

○専門的な知識や技能をもった方が参加することで、子どもたちは普段以上に興味・関心をもって学習に取り組むことができた。また、そこで得られる知識・技能はより確かなものであった。

○歯科指導後の児童アンケートでは、全校児童の98%以上が「歯みがきの大切さ」について肯定評価していた。

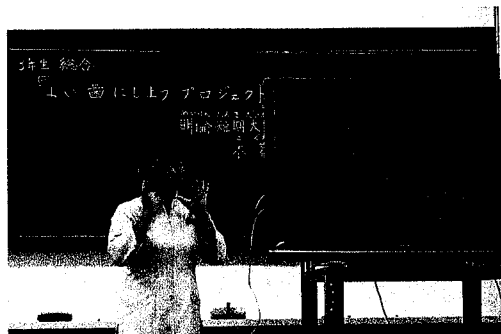
【課題】

▲打ち合わせを2回行ったが、どちらも指導教諭のみとであった。実際に授業に参加する学生と打ち合わせを行うことで、より授業をスムーズに進めることができたのではないか。このことにより、学び合いの深まりの件も解決できると考える。

2. 3年生総合的な学習の時間

3年生は、ここ数年間「総合的な学習の時間」に「良い歯にしようプロジェクト」というテーマで「健康：歯に関すること」の学習に取り組んできている。それは、1年生の時から明倫短期大学との連携で歯科指導を行ってきた結果、児童の歯に対する興味関心が高く、自ら「歯の健康」について課題を設定し、それについて追求し、学んだことを今後の生活に生かしていくことが可能であると考えたからである。

～課題設定の場面で～



子どもたちがより強く問題意識をもち、このテーマに意欲的に取り組んでいけるように、ゲストティーチャーの木暮先生から、

『一生自分の歯で食べるために』
・むし歯 ・歯周病 ・歯の種類 ・歯を強くする方法
という項目でお話ししていただいた。子どもたちは、“もっと調べたい、知りたい”という意欲をもち、自分が追求していく課題を決定することができた。

～追求して解決に向かう場面で～

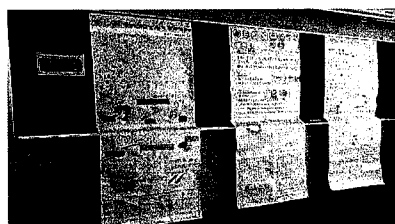
必要な情報を学校や新潟市の図書館から収集し、問題を解決していったが、もっと詳しく知りたい内容や、書物だけでは解決しない内容が出てきた。そのタイミングで、明倫短期大学に見学に行かせていただいた。



校舎内を見学し、新たな発見をしたり、疑問が生まれたりと追求の幅が広がった。

学校での書物による調べ学習だけでは解決できなかった内容を直接先生方に質問し、カードに書き込む子どもたち。具体的なお話で疑問も解決できた。

～分かりやすくまとめ表現する場面で～



明倫短期大学学園祭に作品を展示

たちの「むし歯をつくらないように、歯みがきをしていきたい。」「歯に良いことが分かったので、家族にも伝えたい。」という感想から、歯の健康に対する意識が高まり、学んだことを実践していこうとする意欲を感じることができた。

【成果】明倫短期大学と連携し指導を進めたことは、子どもたちが自ら課題設定し、追求し、まとめ、表現していく場面や、実践する意欲をもたせるために有効であった。

II 家庭、地域、他団体との連携

1. ウェルカム参観日

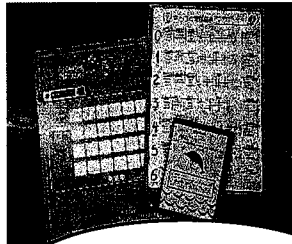


長い年月、このような指導が引き継がれて、今の真砂小学校の歯科指導が成り立っていることに感心しました。
(保護者の声)



【成果】全校歯科指導の公開は初の取組であり、373名の保護者や地域の方から参観いただいた。保護者や地域の方の歯・口の健康意識向上にもつながった。

2. 歯ッピー週間、歯みがきカレンダー、年3回の治療のお勧め



	歯みがき◎-いいえ	歯みがき◎-はい
結果-あり	31	47
結果-なし	81	251

総度数	N	410
検定統計量	χ ²	7.49159
自由度	df	1
p値	p	0.0062
検定の結果	有意水準0.01(1%)で、(母集団について)差がある	

歯みがき
カレンダー

お口の健康シート
歯のけんこうノート

5日間、朝・晩歯みがきをしている→歯みがき◎
春の歯科健康診断の結果、歯列咬合を除くお勧め対象者→結果-ありとして、クロス集計とカイ二乗検定を行った。

【成果】家庭で児童の口腔状況や歯みがき習慣を確認していただき、連携を深めることができた。カードをもとにした検定を行ったことで、結果に差があることが分かり、指導や支援の必要性が明確になった。

【課題】今後も継続的・効果的に活用するために、形式や方法に改良が必要である。歯みがき習慣ができていない・受診の必要がある児童に個別の指導や支援が必要と感じているが、具体的にどのような方法で行っていくか検討が必要である。

3. 新潟市西区役所、NPOは～もに～プロジェクト、新潟市坂井輪地区公民館等との連携

糖分の展示



歯の健康&ひんやり
スイーツづくり



カミカミセンサー体験



<歯に関するワークショップ>

- ・片足バランスチェック ・咀嚼力判定ガム
- ・はやくちことば ・歯みがき力チェック
- ・白衣でなりきり ・折り紙ストロー

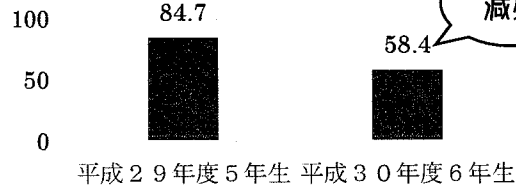
【成果】歯と口の健康に関する取組にご協力いただけそうな行政機関やNPO等から、情報収集をしたり一緒に活動したりしたことは、今後の歯科保健活動を推進するうえでも大変有意義だった。

Ⅲ 校内での取組

1. 保健学習, 身体測定時のミニ指導, 栄養士によるカミカミ指導, カミカミメニュー



「けがをして歯が折れたり抜けたりしたら病院に行く前にどうしたら良いか知っていますか」



■あまり知らない・知らない

減少

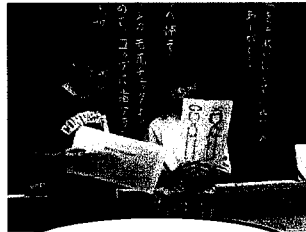


【成果】保健学習後、「けがをして歯が折れたり抜けたりしたら、病院に行く前にどうしたら良いか知っていますか」の問いに、「あまり知らない・知らない」と答えた児童が減少した。ミニ指導では、視覚的教材を用いて、学級や家庭でも確認できるように可視化した教材を作成した。カミカミ指導後に、かむことの大切さを振り返りに書く児童や咀嚼回数を気にする児童がみられた。

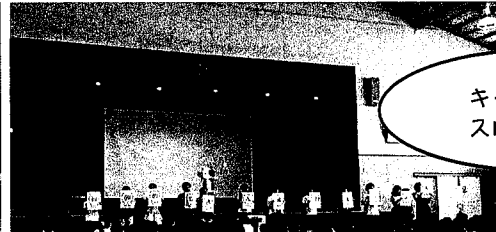
2. 児童保健給食委員会による歯ッピー週間, キャラクターとスローガン発表



あいうべ体操



毛先チェック



キャラクターとスローガン発表



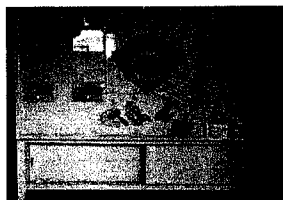
は〜もに〜カルタ



歯ッピーくじ

【成果】委員会の児童が主体的に活動することで、多くの児童が歯について興味をもち、楽しみながら様々な活動に参加していた。歯の健康をより身近なものとして捉えられるようになった。

3. 日常指導, 教材教具の作成や整備



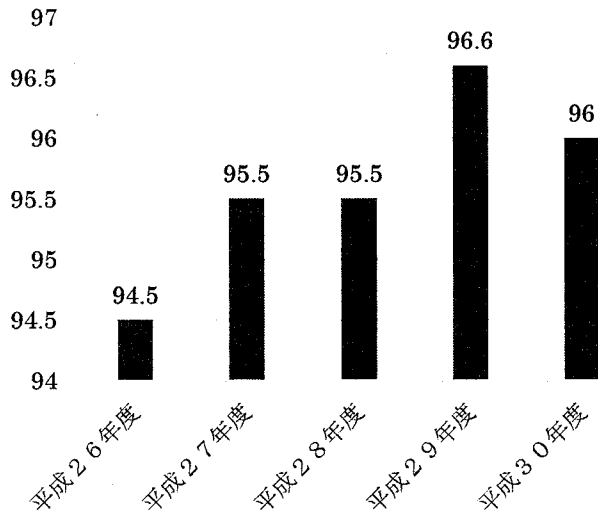
- ・歯ッピーコーナー
- ・歯ッピーだより
- ・フッ化物洗口、お茶うがい、給食後の歯みがき（希望者）
- ・校内安全点検カードの改良
- ・図書館での歯ッピーブックコーナー
- ・保健室来室状況の職員回覧
- ・歯科保健に関する図書の実

【成果】「歯牙の破折・脱臼」による日本スポーツ振興センター申請対象の大きなけがは減少した。

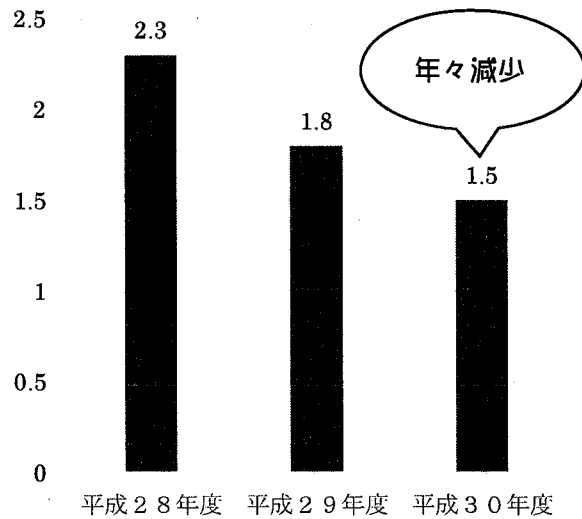
IV まとめ

1. 真砂小学校の歯科保健実態

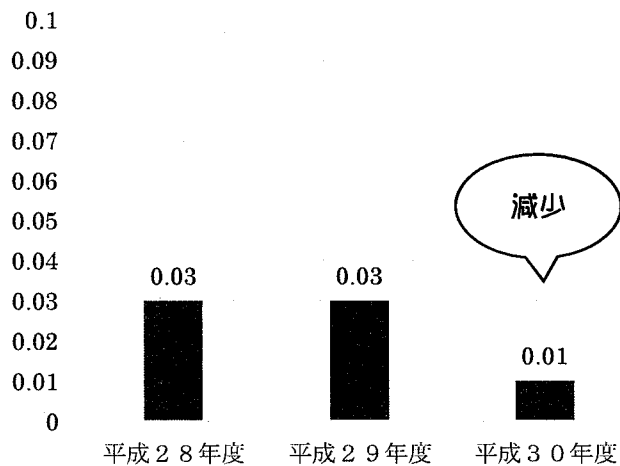
<歯みがきなどで歯の健康に気を付けている>



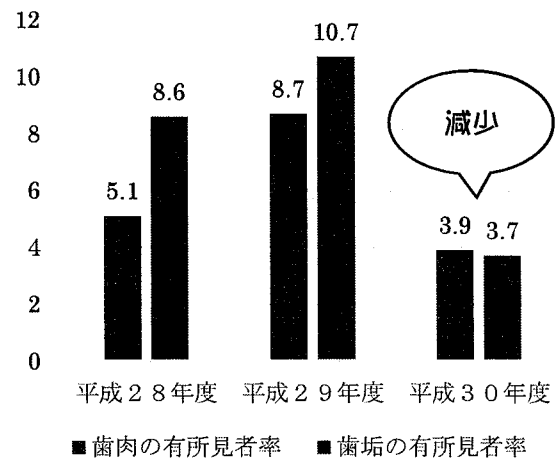
<う歯所有者率>



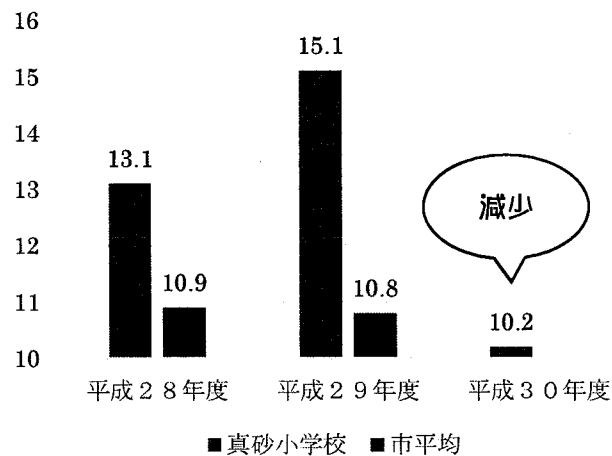
<1人平均う歯本数>



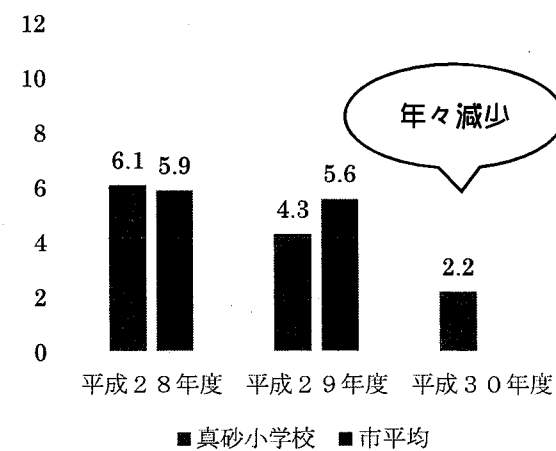
<歯肉、歯垢の有所見者率>



<歯列咬合の有所見者率>



<歯石の有所見者率>

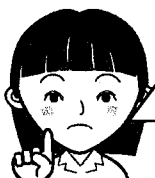


2. 全体の成果と課題

- ・98%以上の児童が「歯みがきはとても大切・大切」と回答。
- ・90.6%の児童が「歯みがきをがんばること、食べ物に気を付けることで、自分で良い歯がつかれるととても思う・思う」と回答。

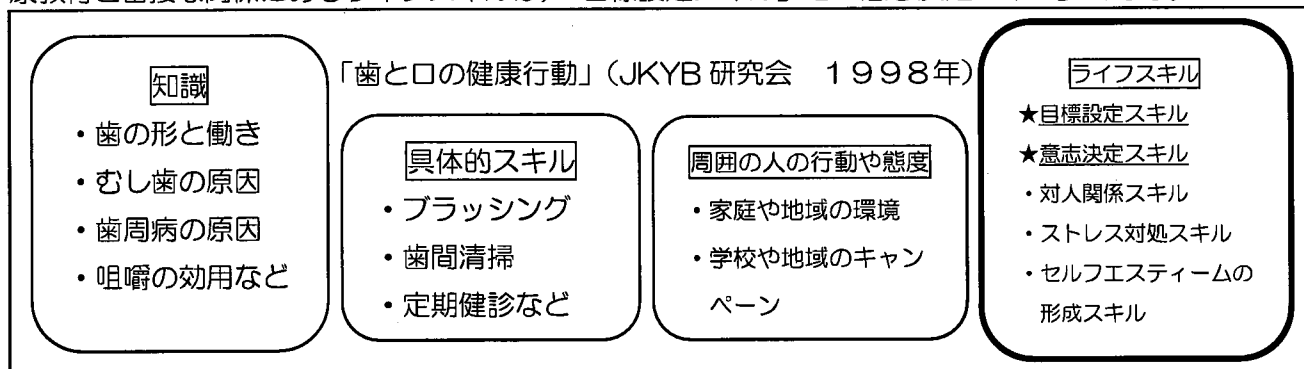
- ・82.6%の児童が「歯みがきがとても好き・好き」と回答。

ほとんどの児童は、「歯みがきは大切であり、自分のがんばりで良い歯がつかれること」を自覚。



しかし、17.4%の児童は「歯みがきがあまり好きじゃない・好きじゃない」と回答している。その原因としては「めんどくさい。」という感情が先行したり、「歯みがき＝爽快感、成就感、達成感」に結び付かなかったり、「歯みがきをしないと怒られるから。」ということが考えられる。

JKYB研究会によると、「歯と口の健康行動」には4つの項目が必要と述べている。特に歯と口の健康教育と密接な関係にあるライフスキルは、「目標設定スキル」と「意志決定スキル」である。

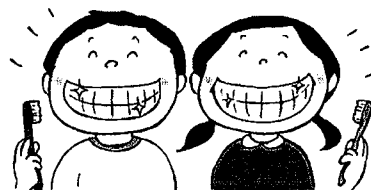


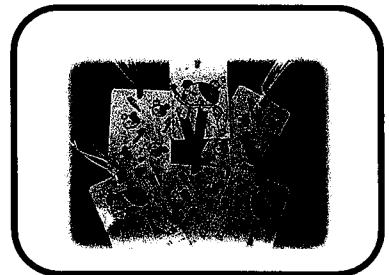
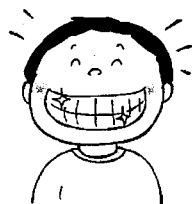
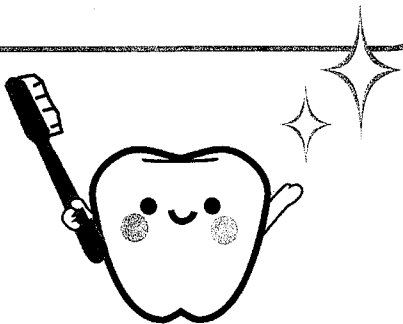
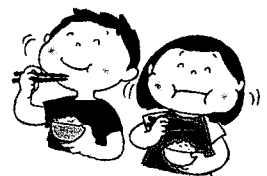
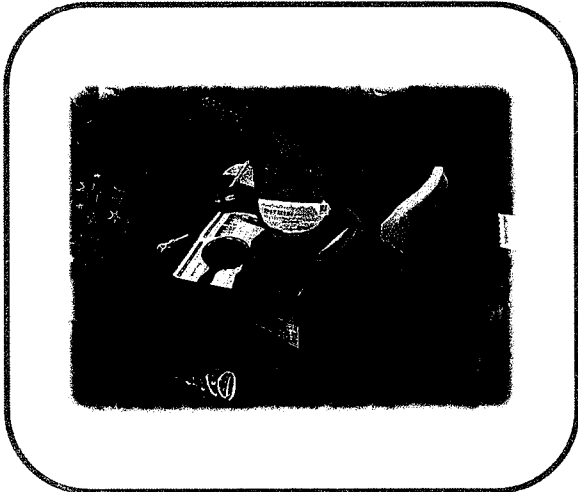
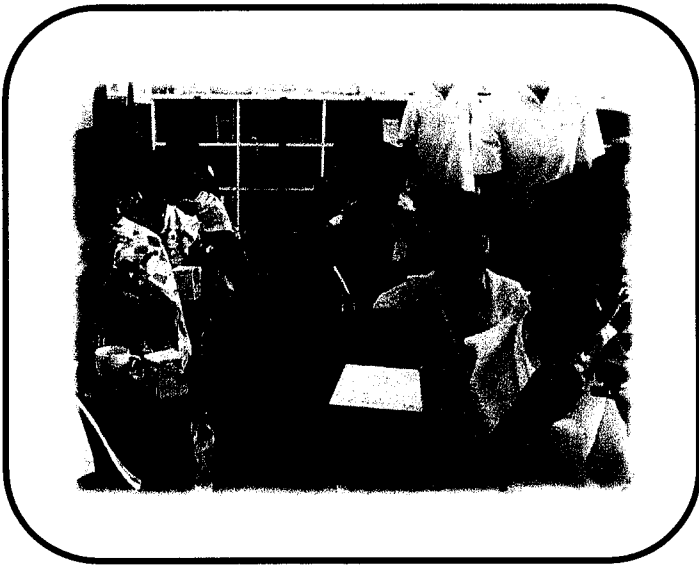
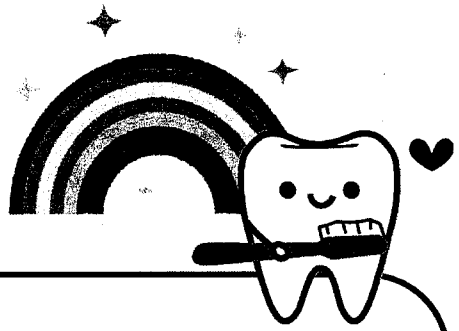
<今後の重要な課題>

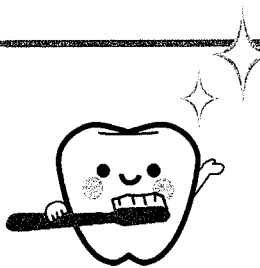
「子どもたちが主体的に考え、どのように歯と口の健康行動を生活の中に組み込んでいくか、自己決定できるように支援すること」



「知識を学ぶ→自分の健康について自己認識し、意志を決定する→よく考えて自分にあった目標を決定する→計画を立てる→実行する→評価をし、目標の達成を確認する」というプロセスを踏んで、実践していく必要がある。



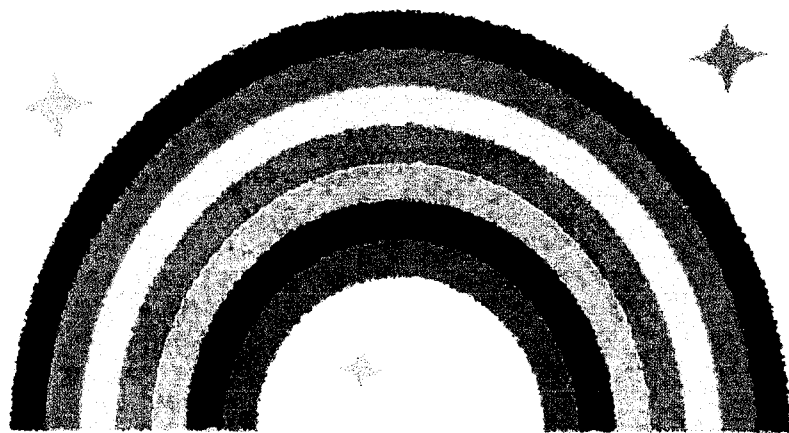




＜平成29年度 職員＞

校長	市橋 佳代	あおぞら1組	丸山 裕子
教頭	長井 卓也	あおぞら2組	江口 美穂
教務主任	五十嵐 淳	級外	高橋 瑞紀
1年1組	矢部 尚子	養護教諭	田口 実奈季
1年2組	中野 優子	主事	奥山 貴生
2年1組	荒澤 寛美	事務員	土田 由起子
2年2組	黒井 祐子	栄養主査	淡路 昌子
2年3組	中川 あい香	司書	塩井 こはる
3年1組	後藤 薫	用務員	大野 真毅
3年2組	山形 智子	支援員	小林 美樹
4年1組	川崎 泰洋	支援員	渡邊 みち子
4年2組	守屋 繭子	支援員	山崎 光子
4年3組	北 洋子	地域教育コーディネーター	吉津 史
5年1組	伊藤 優美	ALT	タン・テリー
5年2組	佐藤 久		
6年1組	倉元 恵理		
6年2組	渡邊 剛		





真砂のじまん歯(は)8028

~80歳になっても自分の歯を28本保とう!~